

令和3年度 東部保健医療圏 圏域別取組に対する進捗状況

【1 地域の子育て支援の充実】

① 妊娠 期 か ら 子 育 て 期 ま で 切 れ 目 の な い 支 援 体 制 の 構 築	吉川松伏 医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市、町と連携して、集団乳幼児健診をおこなった。 ・乳幼児健診の吉川市は、4ヶ月児健診24回、1歳8か月児健診24回、3歳4ヶ月児健診24回、発育発達相談12回、医師を派遣した。 ・また、松伏町は、4ヶ月12回、9ヶ月12回、1歳8ヶ月12回、3歳4ヶ月12回、発育発達相談11回、医師を派遣した。
	東埼玉 歯科医師会	パパママ学級でのブラッシング指導
	春日部市	<p>【こども相談課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター(ぼっぼセンター)に、助産師、保健師の専門職員を配置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。 ・相談体制を充実させるために、月曜日と木曜日は引き続き助産師を2人体制とした。 利用延件数：6,171件
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターで妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供、母子健康手帳の交付、相談対応・保健指導を行っている。また、必要に応じ、母子保健事業の参加を促し切れ目のない支援を行った。 (令和3年度母子健康手帳の交付および面談件数 1693件) (令和3年度相談件数(対面・電話・訪問) 1827件)
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月に子育て世代包括支援センターを市役所と保健センターの2か所に開設した。子育て世代包括支援センターでは、母子健康手帳を交付する際に、保健師や助産師などの専門職が、妊婦さん全員と面談を実施し、本人の体調や育児不安の有無、生活状況などを把握しながら、様々な悩みや不安に対する相談、子育てに関するサービスなどの情報提供を行った。支援が必要な妊婦さんを把握し、安心して出産・子育てが出来るよう、妊娠中からのサポートを行った。 令和3年度 母子健康手帳交付数 2,698件 支援プラン作成数 257件
	八潮市	「にじいろ子育て相談室(子育て世代包括支援センター)」において、専任の保健師または助産師を常時1人配置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時面接人数 887人 ・来所相談 321人 ・電話相談 804人
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師が随時、母子の健康に関する相談及び指導を行った。 ・延実施者数：訪問指導1,144人、来所相談460人、電話相談3,365人。 ・子育て支援ステーションほほえみ(子育て世代包括支援センター)で妊娠届出時等に妊婦との面談を実施し、支援が必要なかたには支援プランを作成し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施。 ・子育て情報を掲載した「にこにこ子育て応援ガイド」を作成し妊娠届出時等に配布。 ・利用者支援事業(基本型・特定型・母子保健型)を実施し、子育て支援施設や保育所等の利用に関する相談や情報提供を実施。
	吉川市	子育て世代包括支援センターに助産師を専門職員として常時1人配置。母子手帳交付時の面接等によりアセスメントを行い必要に応じてサービスや他機関を案内。 令和3年度 妊娠の届出数 493人
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月、子育て世代包括支援センターを設置した。 ・母子手帳交付時に保健師との面接を実施し、特定妊婦等について、関係機関を交えてケースカンファレンスを実施している。必要時に支援プランを計画し、その後の支援につなげる切れ目のない支援体制が構築できている。
	草加 保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの虐待強化予防事業関係者会議 ・春日部保健所と共催で研修会を1回実施(R4.2.1参加者24名(うち13名管内):ハイブリッド式) ・小児慢性特定疾病医療給付制度申請時の療養状況確認(面接等の実施)。 ・令和3年度承認件数538件。ピアカウンセリング事業周知 411件、療養のおたすね468件送付し346件回収。 ・管内4市の要保護児童対策協議会に出席(14回、個別会議2回)。 ・関係機関の支援者及び療養患者に向けた事業を実施。 ・子どもの心の問題に関する研修会 ワンデマン[®]開催(申込36件、48回視聴) (新型コロナウイルス感染症の流行のため、その他事業は一時中止)
春日部 保健所	妊娠期からの虐待予防強化事業研修会 講演「周産期メンタルヘルスと自殺対策」、ケースレビュー (実施日：令和4年2月1日 24人参加 ハイブリッド方式)	

	春日部市 医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度も毎週月曜日から金曜日の午後7時から午後10時まで、「春日部市小児救急夜間診療所」を運営した。 ・休日（日曜日、祝日、年末年始）の小児救急患者の対応のため、1年間の小児科系の休日当番医を決め、診療に当たった。
	越谷市 医師会	越谷市が公設公営設置している夜間急患診療所において、小児科専門医をはじめ医療スタッフを派遣し、初期救急に対応している。越谷市立病院や獨協埼玉医療センター小児科との後方連携による二次救急にも対応している。
	吉川松伏 医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外診療事業として、14医療機関に於いて、平日午後7時から10時まで当番制で実施した。（吉川10医療機関、松伏4医療機関） ・令和3年度は、241日を実施した。また、受診者数は222件、電話相談77件であった。また、二次救急へ14件を紹介した。
	三郷市 医師会	日曜・祝日の休日診療所の運営、平日夜間の輪番制による小児時間外（初期救急）診療及び土曜日夜間の休日診療所を利用した同診療体制の実施。
	春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制による祝休日の初期救急・・・1日につき3か所（内・外・小児）実施。72日開所、受診者数2,894人（小児のみ）。 ・平日夜間の小児初期救急・・・春日部市小児救急夜間診療所の開所（年末年始を除く）。242日開所、受診者数381人。 ・東部南地区（6市1町）による小児二次救急・・・6医療機関により夜間365日+祝休日昼間72日実施。救急搬送人員数2,700人。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日の子どもの応急的な初期診療を行うため、「子ども急病夜間クリニック」を運営し、365日の診療を対応した。（令和3年度利用者数 2,767名）
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・休日当番医制事業（休日、年末年始）を実施した。 ・越谷市夜間急患診療所において、小児科の診療を毎日実施した。令和3年度 受診者数 1,521人 ・埼玉県東部南地区の構成市町と連携し、小児救急医療支援事業を実施した。また、越谷市立病院も輪番制病院として参加した。
	八潮市	<p>日曜、祝日、振替休日及び年末年始に初期救急診療（休日診療所）を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳未満 20人 ・1歳～就学前 167人 ・小学1年～15歳 27人
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療事業を当番医療機関で実施した。315人（月～土曜日の19時～21時まで実施） ・休日、日曜夜間診療を医師会立休日診療所で実施した。1,187人（日曜・祝日・休日及び年末年始の昼間は10時～12時と14時～16時、日曜の夜間は18時～21時） ・埼玉県東部南地区の構成市町（6市1町）と連携し、第二次救急小児救急医療支援事業を実施。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療を松伏町と連携し、吉川松伏医師会の協力のもと実施。13医療機関（吉川9医療機関、松伏4医療機関）平日午後7時から10時まで当番制で実施した。令和3年度：診療日数241日 受診者数は299件（うち電話相談77件）、二次救急への紹介14件 ・埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において小児救急医療支援事業を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療を吉川市と提携し、吉川・松伏医師会の協力を得て実施した。 ・埼玉県東部南地区の構成市町（6市1町）と連携し、小児救急医療支援事業（2次救急）を実施した。
	春日部 保健所	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会に参加し、状況の確認、意見交換を行った。

② 小児救急医療体制の維持・充実

③ 小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発	越谷市医師会	当会ホームページ上にある「医療機関検索」を、より分かり易く、より使い易くなるようバージョンアップし公開している。また、夜間急患診療所を利用した患者保護者に対して、「かかりつけ医」の重要性と子どもの健康について丁寧に説明し対応している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・市、町と連携し、小児時間外診療事業の実施医療機関等のリーフレットを作成し、住民配布をした。 ・医師会ホームページにおいて、小児時間外診療事業の実施医療機関の情報を公開した。 ・夏季・年末年始の医療機関の診療状況についてもホームページにおいて公開した。
	三郷市医師会	市及び医師会ホームページでの小児救急医療に関する案内。
	春日部市	【健康課】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度ゴミニケーション・健康情報カレンダーに「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」の啓発文を掲載し周知。 ・市広報、公式ホームページ等により、「埼玉県救急医療相談」の周知。
	草加市	・広報紙やホームページを通じて、急な病気やケガへの対処方法として、埼玉県救急電話相談についての情報提供を行った。
	越谷市	・広報誌やホームページ等を活用し、埼玉県救急電話相談（#7119）や夜間急患診療所の情報提供を実施した。
	八潮市	・市の広報誌やホームページに埼玉県小児救急電話相談（#7119）や休日・夜間診療所の案内等を掲載し、情報提供を行うとともに適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	三郷市	・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）と、小児時間外（初期救急）診療体制について、当市発行「健康のしおり」（全戸配布）やホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	吉川市	案内配布やポスター掲示などにより埼玉県救急電話相談（#7119）を周知。 ホームページおよび広報誌へ掲載
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療当番表を作成し、3月及び9月に全世帯に配布するとともに、広報紙やホームページ等に当番表を掲載した。 ・小児救急電話相談（#8000）を広報紙やホームページ等に掲載し、適切な受診方法の啓発に努めた。
春日部保健所	急な病気やけがに対する県民の不安解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードの配布。	

【2 生活習慣病を踏まえた健康づくり対策】

① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供	吉川松伏 医師会	・市と町と連携し、ノルディックウォーキングなどの促進のために、医療機関窓口にはポスター掲示やリーフレットの配布をおこなった。
	東埼玉 歯科医師会	糖尿病による歯周疾患の進行について
	埼玉県 保険者協議会	健康経営を実践する企業を対象に、日頃の取組みの課題解決を目的とし県内4地域で「意見交換会」を開催した。その中で、食生活改善について取組むのが難しいとの意見が多かったことから、令和4年度の健康経営セミナーでは、食生活改善をテーマにした講演を開催することとした。（令和4年11月21日開催）
	草加市食生活 改善推進員 協議会	食生活についての調理実習を実施 栄養価を高めて食べよう 12月 12会場 参加者計139人 簡単バランス食 1月 12会場 参加者計140人 男性料理 10会場 参加者計 87人 運動について（ウォーキングを実施） 6月 4会場 参加者計 96人 11月 4会場 参加者計 98人
	越谷市食生活 改善推進員 協議会	コロナウイルス感染防止のため実施が制限され例年通りの普及がむずかしい状況でした。バランス料理教室、カルシウムアップ教室、和食のすすめは中止。 6月30日 カロリー控えめ（糖尿病予防）参加者9人 7月28日 野菜料理（地産地消）参加者12人 10月27日 生活習慣病（県の事業）参加者9人 12月24日 生活習慣病（伝統料理）16人
	春日部市	【健康課】 ・生活習慣病予防教室（お手軽クラス）…健康講話と運動 年3回 対象20歳から64歳 参加者：32人 ・生活習慣病予防教室（ヨガクラス）…健康講話とヨガ 年5回 対象20歳から59歳 参加者数：51人 ・骨密度測定会…骨密度測定と個別指導 対象20歳以上 年8回 参加者数：570人 ・健康長寿サポーター養成講習…年6回 参加者数：117人 ・健康マイレージ事業ストレッチ教室…実施日：11月16日、11月17日 参加者数：29人
	草加市	・移動健康教室（健康増進）3回54人・移動健康教室（介護予防）2回19人 ・ヘルスメイト養成講座7回コース延べ140人 ・特定健診後の生活習慣改善のためのヘルスアップ教室1回6人 ・介護予防教室2回延べ28人 ・食生活推進員定例会において栄養講話29回延べ320人 ・幼児と家族の食事レシピ集作成・配布10,000部 ・ヘルシーレシピの料理検索掲載サイトの掲載 ・保健センターだよりを年4回・成人式号・獨協大学入学式号の発行
	越谷市	・食育の推進を図るために調理実習を行った。 男の料理教室2回、15人参加。ヘルシークッキング2回、22人参加。 ・市民健康教室9回、58人参加。 ・メタボリックシンドローム予防のための減量をサポートする講座を実施した。 チーム-3キロ講義10回、136人参加。 ・運動セミナー1回、17人参加。 ・運動習慣を身につける目的教室を実施した。 健康体操教室26回、606人参加。 ・食生活改善推進員による料理教室5回、37人参加。
八潮市	・年間9回の健康相談会、20-39歳向け健診の結果説明会、随時の健康相談において個人に合わせた保健指導を実施した。 ・健康講座（運動、栄養、疾病予防）等を実施し、食生活、運動などに関する知識の普及や情報提供を行った。（健康長寿サポーター養成講習含む） ・地域住民の健康づくりを推進する「食生活改善推進会」の定例会にて食生活の改善に関する研修を計画的に行った。 ・健康づくりの一環としてウォーキング講習会を実施した。3日間で延80名が参加した。 ・広報、ホームページ、チラシ、ポスター等による健康づくりに関する広報活動を実施した。 ・健康長寿サポーターあての通知に健康情報を掲載し情報提供を行った。	

① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・「すこやかみさと健康体操」の普及・実施 三郷市民の歌に合わせて、歌いながら楽しく身体を動かせる体操を普及及び推進した。 また、市民向けの普及講習会3回を2クール実施した。 ・たばこの害を周知 ①乳児健診会場に受動喫煙に関するパネルを展示した。 ②ハローベビー教室の会場で、たばこの害に関する啓発品の展示を行った（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月から来所での開催を中止している）。 ③成人の集団健康診査会場にて、啓発品の展示やリーフレットの設置を行った。 ④母子健康手帳発行時や健康づくり協力店に、受動喫煙やCOPDに関するリーフレットを配布した。 ⑤禁煙外来の受診等に関するポスターを作成し、本庁舎1階の市民ギャラリー及び健康推進課内に掲示した。 ・成人を対象に行った集団健康教育において、食生活や運動に関する正しい知識の普及啓発や情報提供を行った。延参加者数：160人 ・食生活や栄養でお困りのかたに、地域の各所で栄養士による栄養相談を行った。延実施者数：65人 ・三郷市体力向上推進委員会（市内小中学校から各1名参加）を開催し、児童生徒の体力向上や健康教育に関する研修を実施した。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターに「食育コーナー」を設置。出前講座等により知識の普及を実施。 ・令和2年度に作成した健康メニューの作り方動画を広報等でPR
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月栄養相談を開催し希望者に対し管理栄養士による個別相談を実施した。 ・食生活改善推進員と連携し、食に関する正しい知識の普及や食育への関心を高めることを目的としてメニューの動画撮影を行った。 ・生活習慣病予防、介護予防として『気軽にノルディックウォーキング』を実施した。なお、運動前に保健師等による健康講座を実施し、健康に関する情報を発信した。（新型コロナウイルスによる感染症の流行を受け、一部縮小して実施した。）
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導（延23人）、給食施設指導（114施設）を実施した。 ・健康づくりに関するリーフレット等を来訪者に配布した。 ・管内市栄養士への効果的な健康長寿推進のための会議はヒアリングフォーマットによる書面開催とした。（年1回 管内4市） ・例年、以下の事業を実施している。（令和3年度はコロナ対応で実施できず） 栄養関係団体職員への栄養・健康づくり等についての研修会・会議 健康長寿サポーター養成講座 管内地域活動栄養士会の勉強会
	春日部保健所	<p>給食施設、栄養関係団体等の育成・指導を通じて、食生活改善や健康づくりの啓発普及と支援を実施。新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、ZOOMやYouTube動画配信を導入し研修会等を実施。東部ブロック保健所で事業共有し、広域的・効率的に事業を展開。</p> <p>「食品表示研修会」、「健康長寿サポーター養成講習」、「給食施設栄養管理研修会」「地域活動栄養士会定例会」等（計17回 延べ342名）</p>

	春日部市 医師会	会員医療機関104施設のうち、約7割の医療機関で特定健診・特定保健指導を実施している。実施会員医療機関には、基本的に特定健診と特定保健指導をワンセットとして実施いただくことで、自院での健診結果に基づいた的確な保健指導を行っている。
	越谷市 医師会	当会では、医療機関で行う施設健診と公共施設を利用した集団健診を実施している。また、特定健診実施後の結果通知発送の際に、越谷市が作成した保健指導に係る資料を同封し、市民の健康に対する意識啓発に努めている。令和3年度実績は、施設健診・集団健診合計36,102人。
	吉川松伏 医師会	・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 19日間実施 1,961件、吉川市個別 15医療機関で実施 4,599件 ・松伏町集団 6日間実施 1,644件、松伏町個別 9医療機関で実施 543件
②	三郷市 医師会	集団・個別特定健診及び特定保健指導の実施。
特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進	東埼玉 歯科医師会	節目検診の実施
	埼玉県 保険者協議会	加入者に対し、生活習慣病予防健診、特定健診を実施し、その健診結果から、特定保健指導、未治療者に対する受診勧奨を実施した。令和3年度からは、健診当日の健康意識の高いタイミングで血圧高値者等に対し、健診機関専門職からの対面による受診勧奨を開始した。メディアの活用として、FM MacK5のラジオ番組「Smile SUMMIT」内の情報コーナーにおいて、当支部支部長、埼玉県医師会役員等が出演、及びテレビ埼玉の番組「マチコミ」内の情報コーナーにおいて、当支部支部長、埼玉県保健福祉部長等が出演し、広報を行った。
	春日部市	【国民健康保険課】 ・特定健診：令和3年6月1日～10月31日まで市内医療機関（67医療機関）で実施。 受診率46.0%（令和4年9月29日現在） ・特定保健指導：動機付け支援は市内医療機関（特定健診を受診した医療機関）で実施。 積極的支援は業者委託で実施。 利用率8.9%（動機付け支援10.2%、積極的支援4.0%。令和4年9月29日現在）
	草加市	・生活習慣病のリスクがある受診者に保健指導の利用勧奨を行い、保健指導を実施した（266人）。 ・40～74歳の国民健康保険被保険者を対象に、特定健診の受診券を送付した。 ・特定健診受診勧奨ハガキを2回発送し、受診勧奨を図った。 ・生活習慣病のリスクが高い受診者に対し、保健指導を実施し、早期の段階での治療を促進した。
	越谷市	《特定健診の実施》 【実施期間】6月1日から11月10日 【個別健診】市内88医療機関で実施 【集団健診】9月上旬から10月までの土曜日を含む36日間、市内公共施設で実施 ・全対象者へ受診券、受診案内を送付（52,923件） ・特定健診項目に血清クレアチニン、eGFR、貧血検査を受診者全員に追加、また、医師の判断により心電図、眼底検査（後期高齢者は除く）を実施。 ・特定健診結果通知に、健診項目の検査内容説明を情報提供。 《受診促進》 【広報活動】市ホームページ（期間中）、広報誌（6月号、8月号）、メール配信サービス（1回）、特定健診受診啓発ポスターを実施医療機関88箇所と自治会に配布、越谷商工会議所広報誌（9月号）・JA越谷市の広報誌（8月号）に受診促進記事掲載、自治会回覧板にて周知（市内全域）、健診受診啓発カード（名札貼付用）着用（8月から10月） 【受診勧奨キャンペーン】 ・通知及び電話による受診勧奨（通知送付数：29,100通、電話勧奨：2,406人） ・特定健診受診啓発うちわ（3,000枚）を作製 ・特定健診受診啓発車両用マグネットシートを公用車に貼付 《特定保健指導の実施》 ・特定健診結果より特定保健指導対象者を抽出し保健指導を行い、保健指導未利用者に対しては、ハガキや電話による利用勧奨を行った。 《健康診査、保健指導の実施》 ・健康増進法に基づく健康診査を実施し、対象者に保健指導を行った。 受診者数350人（受診率11.1%）。保健指導実施者数2人（実施率0.6%）。

② 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進

<p>八潮市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やしおに国保コーナーを設けて、特定健康診査の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨や健康管理の重要性などの記事を掲載している。 ・市ホームページに、特定健診の受診勧奨に係るコンテンツを掲載した。 ・メール配信サービスで特定健診の受診勧奨や健診関係のPRイベントの開催等を周知した。 ・特定健診受診啓発ポスターを作成し、実施医療機関及び公共施設に掲示した。 <p>◇特定健診（受診者数 4,687名）</p> <p>①受診期間中の電話勧奨の実施 ②未受診者へ受診勧奨はがきの送付</p> <p>◇特定保健指導（終了者数 92名）</p> <p>①保健指導未利用者へは再募集を実施 ②未利用者へ利用勧奨はがきの送付</p> <p>◇人間ドック・脳ドック補助金助成事業（申請者数 120名）</p> <p>①満40歳以上の国保被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックに要した費用の7割（上限25,000円）を助成する。</p>
<p>三郷市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レディースデイを設け、女性が受けやすい体制を整備した。 ・30代健診結果で特定保健指導基準に該当（年齢以外）するものについて、個人の特性に応じたパンフレットの同封と生活習慣改善に関するコメントを記載し送付した。 ・特定保健指導未申込者に対して、特定保健指導利用勧奨通知を送付した。 発送数：661件 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、集団方式は1日当たりの受診者数を縮小した。 ・集団方式の実施回数を25回とした。 ・検温、換気、会場を消毒等、感染防止策を実施。
<p>吉川市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導率の向上のため、アポなし訪問や休日、勤務時間外の面談の実施、健診当日の個別指導などの取組を実施。
<p>松伏町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に歯科保健に関する資料を同封し、歯周病予防の啓発を実施した。 ・受診者の利便性を図るため、集団健診、個別健診を実施した。集団健診では、通常では保健師・栄養士による生活習慣病予防についての講話を実施（町統計データ等）していたが、新型コロナウイルスの予防対策のため未実施。 ・特定健診未受診者に対し、ハガキによる受診勧奨を実施した。 ・特定保健指導対象者に保健師・栄養士による保健指導を個別面接で実施した。個別面接ができなかった方には、電話または、資料を送付して、生活習慣病の予防啓発を実施した。 ・特定保健指導では、休日開催も取り入れ、より参加しやすいよう工夫した。
<p>草加保健所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市へ特定健診啓発用のぼり旗の貸し出しを行った。 ・食品衛生営業許可申請の場を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った（年24回 60人）。 ・例年、働く世代の健康づくりや特定健診受診率向上のための会議を実施している。（令和3年度はコロナ対応で実施できず）
<p>春日部保健所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健と職域保健の連携を強化し、効果的な健康づくり体制を構築するため、「生活習慣予防のための保健指導実務者スキルアップ研修会」、「特定健診・保健指導担当者スキルアップ研修会」を実施。（計2回、延べ129名） ・地域の保健事業等の把握と情報交換のため、「市町村健康づくり関連事業フォーマットを活用したヒアリング調査」、「地域の保健事業等の情報提供に係る会議」を実施。

③ がん検診受診率の向上	春日部市 医師会	令和3年度も子宮がん・大腸がんは個別検診、胃がん・乳がんは集団検診で実施した。ただし、胃がん検診についてはX線による集団検診だけではなく、受診者の希望により消化器内視鏡による個別検診を4年前より導入し、実績を重ねている。また、肺がん検診については、特定健診の受診率のアップが肺がん検診受診率のアップにつながることとなり、市民・医療機関に対し積極的な勧奨を行っている。
	越谷市 医師会	各種がん検診実施医療機関には実施内容ポスターを院内掲示してもらい、来院者への受診推進啓発活動を行ってもらっている。
	吉川松伏 医師会	・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 4, 862件、吉川市個別 17医療機関で実施 5, 750件 ・松伏町集団 3, 538件、松伏町個別 9医療機関で実施 651件
	三郷市 医師会	集団・個別がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮）の実施。
	埼玉県 保険者協議会	被扶養者が特定健診とがん検診を同時に受診できる機会を拡大した。埼玉県疾病対策課と市町村のがん検診主管部署を訪問し、スキーム等を共有することによって課題を解消することで拡大を図った。メディアの活用として、テレビ埼玉の番組「マチコミ」内の情報コーナーにおいて、当支部支部長、埼玉県保健福祉部長等が出演し、広報を行った。
	春日部市	【健康課】 各がん検診について受診勧奨通知を送付 ・胃がん検診…50歳～60歳の偶数年齢の方（20,230人） ・乳がん検診…40歳～60歳の偶数年齢の方（16,682人） ・子宮がん検診…25歳・30歳・35歳・40歳・45歳の方（6,121人） ・肺がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・中国残留邦人等支援給付受給者の 特定健診・健康診査対象者（全員） ・大腸がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・中国残留邦人等支援給付受給者の 特定健診・健康診査対象者（全員） ・その他（全がん検診の受診案内）…40歳の方（2,757人）
	草加市	・窓口、ハガキに加え、電子申請で申込みを受ける事で、受診しやすいよう環境整備をおこなった。 ・40歳、41歳（男性）の人を対象に、がん検診受診勧奨通知を送った（4,776人）。
	越谷市	・各種がん検診の周知と受診率の向上を図るため、広報・ホームページ・Cityメール・SNSの掲載や、個別勧奨・再勧奨ハガキを通知した。 ・胃がん検診 受診者数12,276人（受診率5.9%）。 ・子宮頸がん検診 受診者数10,761人（受診率7.4%）。 ・乳がん検診 受診者数6,840人（受診率9.7%）。 ・大腸がん検診 受診者数20,206人（受診率9.7%）。 ・肺がん検診 受診者数22,973人（受診率11.1%）。
	八潮市	①八潮市がん検診等の受診券・各種検診の送付 ②子宮頸・乳がん検診の無料クーポン券の送付 ③40歳到達者への各種受診券及び勧奨通知の送付 ④精検未受診者に対する精検受診勧奨通知の送付、受診勧奨電話及び精検結果の把握 ⑤広報やホームページ、メール配信による受診勧奨
	三郷市	・広報やホームページでがん検診の日程や受けかた等を掲載し、申込はがきを「健康のしおり」に折込み全戸配布し、公共施設や医療機関にも設置し受診を促した。
吉川市	・乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンを対象者に送付。広報・ポスター等によるがん検診の受診勧奨を実施。 ・協会けんぽの特定健診会場を提供し、子宮・乳がん検診を同日に実施	
松伏町	・特定健診受診券送付時にごがん検診受診勧奨を実施した。 ・集団健診時にごがん検診も同時に実施し、受診しやすいよう休日にも実施した。 ・乳子宮がん検診については、個別にはがき案内及び対象者に無料クーポン券を発行し受診勧奨をした。 ・胃がん・大腸がん・子宮頸がんについては、個別検診も実施した。 ・令和2年度乳がんクーポン券対象者の未受診者、令和2年度前立腺がん未受診者も受診可能とした。	
草加 保健所	・食品衛生営業許可申請の場を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った（年24回 60人） ・効果的に働く世代の健康づくりを実施するために管内市担当者を対象に健康課題対策会議をヒアリングフォーマットによる書面開催とした。（年1回 管内4市） ・例年、健康長寿サポーター養成講習会を実施している。（年1回23人） ・望まない受動喫煙を防止するための啓発、禁煙施設等の認証を行った。（延べ1120件）	

	春日部市 医師会	春日部市、協会けんぽ 埼玉支部からの要望もあり、受診データの提供等、積極的に協力している。
	越谷市 医師会	重症化予防事業を会員医療機関に周知し、積極的な事業参加を呼び掛けている。
	吉川松伏 医師会	・市と町と連携し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、医療機関への受診勧奨の対象となった方に対しての医療機関への協力周知を行い、糖尿病重症化リスクの高い方の人工透析への移行を防止するよう努めた。
	東埼玉 歯科医師会	歯周病関連の情報
	埼玉県 保険者協議会	健診結果等から高血糖者に対し、受診勧奨を実施している。また、埼玉県の糖尿病重症化予防プログラムに沿って、糖尿病性腎症重症化予防のためのかかりつけ医と連携した保健指導を実施した。メディアの活用として、FM NacK5のラジオ番組「Smile SUMMIT」内の情報コーナーにおいて、当支部支部長、埼玉県医師会役員等が出演、及びテレビ埼玉の番組「マチコミ」内の情報コーナーにおいて、当支部支部長、埼玉県保健福祉部長等が出演し、広報を行った。
④ 糖尿病の 発症及び 重症化予 防対策の 推進	春日部市	【国民健康保険課】 ・糖尿病性腎症重症化予防事業（受診勧奨、保健指導、継続支援）を埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業として実施。 ・受診勧奨：未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者204人、受診中断者30人。 ・保健指導：糖尿病性腎症2期～4期の者に専門職（保健師・管理栄養士等）による保健指導を実施。通知発送数773人、参加者数35人（参加率4.5%）、修了者数27人（修了率90.0%） ・継続支援：保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。通知発送数81人、参加者数12人（参加率14.8%）、修了者数12人（修了率100%）
	草加市	・糖尿病のリスクがある未受診者や受診中断者に対して、個別に受診勧奨通知書を送付し、非専門職による電話での受診勧奨を実施した。また、勧奨後も受診がない対象者に再度受診勧奨通知と、電話による受診勧奨を実施した。 ・糖尿病の重症化リスクの高い者に、保健指導プログラムへの参加通知を送付し、本人の同意と、かかりつけ医の推薦があった者を対象とし、保健指導を実施した。
	越谷市	・糖尿病予防の講演会を開催した。 糖尿病予防セミナー1回、23人参加。 ・糖尿病の重症化予防の講演会を開催した。 糖尿病と上手に付き合う方法論～コントロール編～1回、23人参加。 ・糖尿病予防を目的に、ウォーキング教室を行った。1回、16人参加。 ・糖尿病に関する栄養講座を行った。 講話編5回、45人参加。調理編1回、9人参加。 埼玉県と国保連合会の共同事業に参加。 ・医療機関未受診者への受診勧奨（138人） 受診中断者への受診勧奨（36人） ・保健指導（R3 申込者数34人）
	八潮市	埼玉県・埼玉県国民健康保険団体連合会との共同として「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。令和3年度の実績は次のとおり。 ①受診勧奨者数 72名 ②保健指導参加者数 2名 ③保健指導継続支援 1名
	三郷市	・埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業への参加 保健指導終了者数：7人 ・健診結果から、集団健診においてHbA1c8.0%以上の未治療者を対象として、保健師が訪問指導を実施した。訪問数：8件
	吉川市	・特定保健指導を中心に糖尿病の発症及び重症化予防対策を推進。 重症化予防保健指導対象者：431人 保健指導実施者数：375人 （治療中のメタボ、腎機能低下、高血圧、糖尿病、LDL、心房細動等）
	松伏町	・糖尿病について相談したい方に対し個別相談会を実施した。 ・健診結果により、糖尿病の発症予防を踏まえた特定保健指導を実施した。
	草加 保健所	・健康長寿課主催の糖尿病性腎症重症化予防対策に係る二次医療圏単位の対策会議（東部医療圏）は新型コロナウイルス感染拡大により書面開催となり、糖尿病性腎症重症化予防施策の実施状況について情報共有を行った（年1回）。

越谷市 医師会	後期高齢健康診査、骨粗しょう症検診、各種がん検診や各種ワクチン接種事業等を実施し、市民の健康寿命の延伸に寄与する医療活動を継続的に行っている。
東埼玉 歯科医師会	75歳以上の検診の実施
越谷市食生活 改善推進員 協議会	11月24日 介護食料理 参加者5人 12月14日 健康寿命延伸プロジェクト 参加者14人 1月16日 健康寿命延伸プロジェクト 参加者16人
⑤ 高齢者の健康づくりの推進 春日部市	<p>【介護保険課】 高齢者の介護予防のため、介護予防事業を実施した。 ・健康脳トレ塾…脳トレ、栄養・口腔機能・介護予防の講話、そらまめ体操など (開催回数：40回、延参加者数：487人) ・介護予防講演会…転倒予防、腰痛・膝痛予防、首痛・肩痛予防、うつ・認知症予防、薬、高齢者の栄養、 口腔機能向上、音楽による認知症予防についての講話など (開催回数：8回、延参加者数：111人) ・そらまめ体操普及活動 (実施会場：7か所、実施回数：151回、延参加者数：2,959人) ・介護支援ボランティアポイント事業…高齢者施設などでボランティア活動をする高齢者にポイントを付与 (登録人数：228人) ・えんJOYトレーニング…住民主体型の介護予防体操 (27団体)</p> <p>【高齢者支援課】 ・健康づくりいきいき運動研修…60歳以上を対象に年18回、ストレッチ、筋力運動等を実施 参加人数：518名 ・体力測定会…60歳以上を対象に握力、開眼片足立ち、長座体前屈、10m障害物歩行の4種目の測定を実施 年4回開催 参加人数：150名 ・元気アップ教室…簡単スポーツ、健康ツボ講話、正しいウォーキング等の5つの教室を概ね65歳以上の高齢者を対象に年26回実施 参加人数：317名</p> <p>【健康課】 いきいきシニアライフ応援事業（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施）：R3年度から新規実施。 ＜ハイリスクアプローチ＞ 対象：令和2年度後期高齢者健康診査結果から個別指導対象基準値に該当する75歳以上の市民 内容：対象者に事業案内を送付。利用希望者に対し6か月間に3回の訪問指導を実施。 対象基準値によって、低栄養防止、または生活習慣病重症化防止について指導。 実績：35人（低栄養防止10人、生活習慣病の重症化予防25人） ＜ポピュレーションアプローチ＞ 対象：地域の高齢者の通いの場等に参加する市民 内容：各地域包括支援センターから推薦のあった団体に対し、地区担当保健師が年に2回出向いて健康教育・健康相談を実施。 実績：利用団体（実）13団体、延参加者358人</p>
草加市	・後期高齢者の健康寿命の延伸に向け、フレイル予防や疾病予防・生活習慣病重症化予防等を一体的に実施できるよう、健診結果等の分析や医療専門職の通いの場への関与等保健事業と介護予防の一体的な取組を令和5年度から実施予定。令和3年度は関係各課が集まる部内会議において、医療・健診・介護等の面から見た課題を抽出し情報共有を行った。
越谷市	<p>・地域での介護予防活動の中心となるリーダーを養成し、住民主体の通いの場等の活動を支援した。(8団体、24名の介護予防リーダーを養成)</p> <p>・住民の通いの場へ専門職(リハ職、歯科衛生士、栄養士、薬剤師)を派遣する介護予防出張講座を実施し、住民主体の介護予防の機能強化を支援した。(実施回数：31回、参加者：延べ481人)</p> <p>・居宅で過ごす期間が長くなり介護予防の必要性が高い虚弱な高齢者に対して、健康を維持するために必要な運動プログラムをリハビリ専門職が対象者の自宅に訪問する「リハビリテーション専門職による介護予防訪問支援事業」を実施した。(参加者：37名、延訪問回数：216回)</p> <p>・認知症、老年期うつ等の予防に関する講演会を開催した。(参加者：延べ85人)</p> <p>・市内地区センター等を会場とした運動・口腔機能向上、低栄養改善のための複合プログラムである「お口と栄養と運動の元気塾」を実施した。 (全4回×6コース 合計24回、参加者：72人)</p> <p>・介護予防の必要性を学び、運動をはじめのきっかけづくりを目指し、「65歳からのいきいき元気教室」を開催した。(参加者：15人)</p> <p>・高齢者が気軽に自宅で取り組める介護予防体操の広報資料(DVD、リーフレット)を作成し、広く広報活動を行った。</p>

⑤ 高齢者の健康づくりの推進

<p>八潮市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防体操教室、若返るぞ！シニア体操教室：専門の指導員による体操教室を市内8ヶ所で実施。 ・俺の体操教室：男性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。 ・ころばん介護予防教室：女性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。 ・いこい体操：市内42会場で実施している八潮いこい体操に理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、健康指導を実施。 ・おいしく食べよう栄養教室：管理栄養士によるバランスの良い食事についての講話や調理実習を実施。 ・オーラルフレイル予防教室：歯科衛生士による噛む力や飲み込む力、歯磨き（ブラッシング）の個別指導、口腔体操を実施。 ・フレイルチェック測定会：毎月第4火曜日にフレイルチェック測定会を実施。
<p>三郷市</p>	<p>高齢者の要介護・要支援状態を予防するため、以下の介護予防事業を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー元気塾ゆうゆうコース（簡単な筋力トレーニング） 6会場 93回 参加者数220名 延べ人数811名 ・健康アップ教室（椅子に座ったままでできる簡単な体操） 8会場 224回 参加者数381名 延べ人数3,080名 ・地区サロン事業（地域の高齢者のかたが集まり体操や趣味活動等を行う） 25会場 937回 参加者数696名 延べ人数8,780名 ・プールでウォーキング（市内スポーツクラブのプールを利用した水中歩行） 3会場 30回 参加者数72名 延べ人数391名 ・脳の健康教室（KUMONが作成した教材を利用した認知症予防のための教室） 2会場 43回 参加者数36名 延べ人数668名 ・複合介護予防事業（歯科医師会、医師会、薬剤師会、栄養士会、接骨師会、理学療法士会と連携したフレイル予防・認知症予防のための講演会） 6会場 12回 参加者数106名 延べ人数185名 ・口腔機能向上事業（歯科衛生士を地域の通いの場へ派遣） 14回 参加者数195名
<p>吉川市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿支援課にて介護予防教室・地域の体操教室・フレイル予防事業を実施 いきいき運動教室：1コース全15回（概ね週1回・1時間30分）、18コース 参加者延べ790人 はつらつ運動教室：1コース全15回（概ね週1回・1時間30分）4コース （送迎あり）参加者延べ103人 フレイル予防事業：フレイル予防サポーター養成講習会 修了者 12人 フレイルチェック 5回 参加者 62人
<p>松伏町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業の実施（松伏ご近所さん体操、ご近所さん体操交流大会、いきいき健康体操教室、音楽療法による介護予防事業（音楽健康クラブ）、男性のための健康体操教室等） ・フレイル予防対策教室の実施（メイク&スキンケア教室）
<p>草加保健所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者情報の連携による高齢者の健康維持向上を促進するために、前期高齢者から後期高齢者の重点的な健康支援の仕組みが求められた。令和6年度から各市で具体的事業の実施が開始される見込み。 ・埼玉県国保連合会や国保医療課主催の「高齢者の保健事業と高齢介護の一体化事業」を活用し、各市の関係各課の情報共有、計画策定等に向けた情報提供を行った。研修会は、新型コロナウイルス感染拡大によりZoom開催となり、管内の情報共有は困難であった（年1回）。

【3 心の健康対策】

① 精神保健に係る関係機関との連携強化	越谷市医師会	越谷市精神保健福祉専門相談事業や埼玉県福祉部嘱託医（更生相談）等に対し、順天堂大学医学部付属越谷病院や獨協医大埼玉医療センター専門医の推薦・派遣協力を行っている。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関間の情報共有及び連携の強化。
	埼玉県保険者協議会	加入者（健康保険委員）に対するセミナーで、メンタルヘルスに関する講演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からホームページ上で動画にて配信した。
	春日部市	【健康課】 ・障害者生活支援センター主催の精神保健関係者連絡会に参加…参加機関：市保健福祉部門職員、月1回 【障がい者支援課】 ・保健所、相談支援事業所、市の関係課が参加し、お互いの機関の役割の確認や情報共有を行った。
	草加市	・高齢化、重複障がい、子育てなど家族が抱える問題が多様化しており、世帯全体への支援が必要な事例が増加しているため、医療機関、相談支援事業所、包括支援センター、子育て支援センター、訪問看護事業所等と連携し、情報共有のほか役割分担、方針の統一を図った。
	越谷市	・個別ケースカンファレンス 関係機関や団体と随時ケースカンファレンスを実施して支援体制を確認し、必要に応じて受診援助や同行訪問等を行った。 庁内：障害福祉課、生活福祉課、地域包括ケア課、健康づくり推進課、子ども安全室、指導課、教育センター、消防局等 庁外：精神科医療機関、警察署、教育機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、障がい者等相談支援センター、児童相談所等 ・自殺対策 市内三次救急医療機関及び消防局と連携し、「自殺未遂者相談支援事業」を実施した。同意の取れた自殺未遂者又はその親族等に対し、病院等で面接相談を行い6ヶ月以上の継続支援を実施した。また、不搬送者に対しては、救急隊より再企図防止メッセージカードを配付した。 （支援件数：16件） ・自殺予防普及啓発活動 昨年同様、新型コロナウイルス感染症の対策から駅頭キャンペーン（自殺予防週間、歳末、自殺対策強化月間）を実施できなかったため、東武鉄道株式会社と連携し、市内小中学校美術部等による「いのちを大切に」をテーマとした作品を市内5駅の駅構内に展示した。 （展示期間：9月10日～30日、3月中） （作品出品校：8校） ・ひきこもり相談支援 市のプラットフォームとして、庁内関係各課所、市内の関係機関や団体による「ひきこもり支援連絡会議」を開催した。 （1回、11人）
	八潮市	・随時、保健所や医療機関、相談支援事業所等と連携を図った。
	三郷市	・医療機関、地域事業所も含めた事例検討の場への参加 ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、医療・福祉・介護等を含めた協議の場を設置し、検討を進めてきた。
	吉川市	・精神障がい者家族会への補助金支出など支援を実施。 ・精神保健を含む複合的な相談・支援体制の在り方に関する庁内検討会議を実施している。
	松伏町	・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携した。民生委員の定例会に参加し、相談窓口の紹介やゲートキーパー養成研修の周知を実施し、連携の強化を図った。 ・年2回、関係機関と精神連携ケース会議を実施した。会議の中で、勉強会を実施し、精神保健に関しても情報共有を行った。
草加保健所	・管内4市精神保健福祉担当者連絡会、精神障害者支援地域協議会（代表者会議）、精神障害者地域支援体制構築会議を画面にて開催し、管内関係機関と地域精神保健福祉課題の共有を図った。	
春日部保健所	管内の保健・医療・福祉関係機関の職員を対象に、関係機関との連携強化、情報共有を連携を強化することを目的に事業を実施。 ・市町精神保健福祉連絡会、春日部市自立支援協議会への参加（13回） ・松伏町保健センター精神保健勉強会での講義（2回 参加20名） ・保健所管内精神保健福祉連絡会の開催（12月17日 参加23名）	

三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。
春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉連絡会（情報交換）…対象：市職員（保健福祉部門）、実施日：10月7日、参加者：11人 ・メンタルヘルス講演会…対象：市民 実施日：3月25日、参加者：14人 ・ゲートキーパー養成講習会…対象：市職員、実施日：12月9日・12月16日・3月18日、参加者：54人 ・こころの健康相談……毎月3回実施、精神保健福祉士・臨床心理士・保健師による相談、年66件 ・新成人向けのリーフレット配布…成人式にてリーフレット配布：1,470部 ・こころの体温計…メンタルヘルスチェックシステム 通年 アクセス数：25,029件 <p>【障がい者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページ等を通じ、自立支援医療（精神通院医療）、精神保健福祉手帳の申請に関する情報提供を行った。
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会にて、緊急事態を未然に防ぐための「あんしんシート」「チェックシート」を作成、相談支援事業所が運用し関係機関が本人や家族の状況を共有できるようにした。 ・サービスをスムーズに利用できるよう「事業所マップ」、「福祉サービスの利用の手引き」を作成した。
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談に関する窓口案内用リーフレットを作成し、来訪者や庁内外の関係機関等へ配布した。また市ホームページや広報誌においても、インフォメーションを行った。 （こころの健康に関する相談件数（面接、電話、訪問）：計5,322件） ・精神保健困難事例について、専門家によるスーパーバイズから、未受診者への見立て、支援者のスキルアップを図り、相談支援体制の充実を図った。 （精神科医師による専門相談：6回、内訳：訪問相談4件、面接相談2件） （臨床心理士による専門相談：5回、内訳：検討事例9件） ・「自殺未遂者相談支援事業」を実施し、三次救急医療機関及び消防局との連絡報告会を計3回実施することで、自殺対策に関わる相談支援体制の充実を図った。 ・ひきこもり市民教室、ひきこもり支援者研修、うつ病家族教室、アルコール専門相談、自死遺族相談を実施し、ひきこもりやアルコール関連問題、精神疾患等に関する正しい知識の普及啓発を行った。また、ひきこもり家族のつどい、ひきこもり当事者の居場所を運営した。 （ひきこもり市民教室：1回、18人） （ひきこもり支援者研修：1回、15人） （うつ病の家族教室：3回、計63人） （アルコール専門相談：2回、6組 自死遺族相談：2回、1組） ・ゲートキーパー研修を、市内小中学校教職員を対象に実施した。 （4回、計100人）
八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・HPでの知識、情報提供。 ・毎月1回、精神科医によるこころの健康相談の実施。 ・相談窓口について分野別に一覧した相談窓口シートを作成し、相談業務にあたる職員に加え、相談業務にあたる相談員、民生委員・児童委員等177名に、相談の内容に応じて専門機関等を案内できるように配布した。 ・ゲートキーパー養成講座（市民向け）を実施した。（実施日：令和4年1月13日（木） 受講者28名）ゲートキーパー手帳を受講者に配布した。 ・八潮市障がい者総合相談窓口にて相談体制の充実を図った。 ・市内相談先一覧を作成し、窓口にて配布を行った。 ・随時、保健師、精神保健福祉士による相談を実施。
三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健に係る相談体制の充実を図るため、各種相談機関を掲載したリーフレットを差し込んだポケットティッシュやクリアファイル、お守り型リーフレットを作成し、市民に配布した。また、市ホームページやメール配信サービス、SNS等でも周知を行っている。 ・精神保健福祉士によるゲートキーパー養成講座を市職員向け、市内中学校向けの計2回開催したほか、地区担当保健師による出前講座を市内小学校向けに1回開催した。また、精神科医による講演とパネルディスカッションを含む医療機関向け講演会を1回開催した。 ・自殺対策街頭キャンペーンとして、三郷中央駅にて啓発品を配布するキャンペーンを1回行った。
吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業について広報掲載。
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施した。 ・主な相談窓口の紹介チラシを作成し、関係機関の窓口への設置や民生委員に配布を実施し、精神保健に関する相談窓口を情報提供した。 ・こころの健康講座としてゲートキーパー養成研修を実施し、22名の方が参加し、悩んでいる方の心理や声かけの仕方などについて情報提供した。
草加 保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・管内4市精神保健福祉担当者連絡会、精神障害者支援地域協議会（代表者会議）、精神障害者地域支援体制構築会議を書面にて開催し、管内関係機関と地域精神保健福祉課題の共有を図った。また、管内各4市で主催している、自立支援協議会全体会や部会へ参加し相談体制強化に資する情報共有や課題検討を行った。

② 精神保健に係る情報提供や相談体制の充実

	春日部保健所	<p>県東ブロックの保健所間で精神保健福祉業務に関する情報交換を実施。管内関係機関職員を対象に、精神保健相談スキル向上を目的に講義を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県東精神保健福祉業務ブロック会議の参加（書面開催） ・松伏町民生委員・児童委員研修会での講義（2月15日） ・東部中央福祉事務所生活保護担当研修会での講義（1月7日）
③ 退院後の地域支援体制の充実強化	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。
	春日部市	<p>【障がい者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院後、在宅生活が困難な方は、グループホームの入居やヘルパーの利用等について、必要に応じて関係部署と連携し、スムーズに障害福祉サービスの導入に繋がるように支援を行った。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・退院前から医療機関を訪問し、本人を含め支援体制について関係機関と検討し、地域で安定した生活を送れるようサービスの調整を行った。 ・地域移行を想定した体験の場の機会、場について、グループホームの空き情報を相談支援事業所が確認できるようクラウドの活用を検討した。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の措置入院解除時は、県保健所が主催する調整会議（措置解除面接）に出席した。措置入院解除後は県保健所から市保健所へ支援機関が移るため、退院後の地域生活支援体制を整えた。また、医療保護入院等も含めて、退院後は来所面接や家庭訪問等で定期的に病状等を確認して、訪問看護ステーションや地域包括支援センター等と連携し、当事者の地域生活を継続的にフォローした。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターを中心に、相談支援事業所や医療機関等と連携を図り、退院後の支援体制について調整を行った。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と連携し、入院中より障害福祉サービス等の制度利用について説明を行い、再入院防止に向けた支援体制を整えた。 ・退院促進や地域生活の定着を目的とする「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、検討を進めてきた。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて病院や地域移行支援事業者などと個別会議を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、退院時カンファレンスの内容について情報提供を受け、地域での生活を支援できるようにした。
	草加保健所	<p>措置入院者に関しては、措置入院解除のタイミングで面接や会議を開催し、退院後の再発予防、社会参加を目標とした課題共有、支援方針を本人、家族、関係機関等と協議した。また、精神障害者支援地域協議会（代表者会議）では、書面上ではあるが措置入院運用上の課題や退院後支援の実情等報告し、警察を交えた関係機関との共有を図った。</p>
	春日部保健所	<p>退院後に必要な医療等の支援を継続的に受けられるようにすることで、社会復帰の促進等を図ることを目的として事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の開催（12月17日 参加23名） ・精神障害者支援地域協議会（調整会議）の実施（55回）

【4 健康危機管理体制の整備充実】

① 地域における健康危機管理体制の充実強化	吉川松伏医師会	・吉川市、松伏町の地域防災計画改定などの策定などに対して、策定委員等を当会より推薦し派遣している。
	東埼玉 歯科医師会	各種健診の実施
	草加市 薬剤師会	年齢とともに受診する医療機関が増え薬の飲み合わせに注意が必要となる。
	春日部市	【健康課】 ・災害時用医薬品等備蓄業務委託・・・備蓄箇所数市内15か所
	草加市	・地域住民及び大学と連携し、感染症対策を盛り込んだ避難所運営訓練を実施した。 (実施日：獨協大学10/15、川柳中学校10/24、八幡小学校10/30、谷塚小学校11/13、小山小学校11/13、西町小学校11/13、氷川小学校11/13、八幡北小学校11/14、谷塚中学校11/18、柿木町会11/21)
	八潮市	・令和3年度埼玉県草加保健所地域災害保健医療調整会議（書面会議）に出席した。
	三郷市	・防災医療対策協議会を開催し、防災医療体制について協議を行った。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、三郷市危機管理防災課、三郷市健康推進課、三郷市消防本部、三郷市消防署 開催日：令和3年6月11日、11月30日、令和4年3月29日
	吉川市	第6回 減災プロジェクトを旭小学校区で開催 日時：令和3年11月14日 場所：旭小学校、旭地区センター 内容：避難所開設運営訓練、防災設備等の見学、防災関連展示
	草加 保健所	・全職員が非常時に行政無線及び非常用発電機の操作、災害用備蓄物品の利用が可能になる体制を構築するため、所内で行政無線・備蓄物品確認訓練を実施した。（実施日：令和3年11月11日・12日） ・草加保健所地域災害保健医療調整会議を書面にて実施し、健康危機管理体制の確認及び連携を図った。（実施日：令和4年2月21日）
	春日部 保健所	・健康危害発生時における緊急対応マニュアルを作成し所内に配布した。 (作成日：令和3年6月22日) ・埼玉県東部（北）保健医療圏地域災害保健医療調整会議を開催した。 (開催日：令和3年11月24日、25名出席)
② 大規模災害時における医療提供体制の確	春日部市 医師会	地震について、春日部市で震度5強を観測した段階で、春日部市災害対策本部が立ち上がり、市内5ヶ所（春日部市立医療センター・東中学校・武里南小学校・豊春中学校・桜川小学校）に避難所が開設される。会員全医療機関がそれぞれの担当避難所に駆けつけ救護にあたる。このような事態を想定し、春日部市・歯科医師会・薬剤師会等とともに、救護マニュアル策定のための複数回の会議、年に一度の防災訓練を実施している。
	越谷市 医師会	越谷市災害対策マニュアルに基づいた有事の際の医療提供のあり方について継続的に検討している。市設置の医療救護所への医療班派遣準備の体制構築を図っている。また、医療救護活動に必要なトリアージに関するスキルアップ研修を会員医師のみならず、市保健師や医療機関勤務看護師、薬剤師会にも受講対象を拡げ災害医療への理解と医療班への参加協力に対する意識啓発に取り組んでいる。他地域への応援要請に応えるべく、Jmat活動にも取り組みを強化した。
	吉川松伏医師会	・災害医療委員会を設置して、定期的に災害時の医療救護体制の構築についての検討、医師会としてのトリアージ訓練を実施していたが、コロナ禍の中ということがあって、活動は自粛した。
	三郷市 医師会	防災医療対策協議会の一員として大規模災害時に備えた防災医療体制の充実化を図り、トリアージ訓練や化学災害対策訓練を実施。
	東埼玉 歯科医師会	大震災に向けた講演会を行なっている
	草加市 薬剤師会	それぞれの薬局状況の把握をするとともに地域の避難所での協力の取組を行う。 行政と薬剤師会との連携強化を行い、災害等での不足した医薬品の安定供給を行う。
	埼玉県看護協会	2021年11月9日から10日に災害支援ナース派遣調整合同訓練（机上シミュレーション）が埼玉県看護協会主催であり、東部医療圏の医療機関も参加。
	春日部市	【健康課】 ・コロナウイルス感染拡大防止のため、大規模災害発生を想定した医療救護訓練（参集及び通信訓練）は見送りとした。

保 に 向 け た 取 組	草加市	・避難所となる各小中学校に診察用兼要配慮者用ベッドを配備した。
	越谷市	・埼玉県災害時連携病院及び埼玉地域DMAT指定病院に越谷市立病院が指定された。
	八潮市	・県主催の大規模災害時対応研修に参加した。
	三郷市	・防災医療対協議会のなかで、医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会と災害時の連絡体制等について協議を行った。
	吉川市	要配慮者利用施設に係る避難確保計画を入院患者のいる医療機関に提出依頼 (4医療機関対象)
	草加保健所	・草加保健所地域災害保健医療調整会議を書面にて実施し、健康危機管理体制の確認及び連携を図った。(実施日：令和4年2月21日)
	春日部保健所	・埼玉県東部(北)保健医療圏地域災害保健医療調整会議を開催した。 (開催日：令和3年11月24日、25名出席)
	三郷市医師会	学術講演会を開催し、インフルエンザ等感染症に対する知識の充実化を図る。
	東埼玉 歯科医師会	各医療機関でのマスク、グローブ、ガウンの着用。 消毒の徹底。
	草加市 薬剤師会	学校薬剤師としての学校環境衛生の一環として換気による感染の予防等について対策の強化
③ 感 染 症 対 策 の 強 化	春日部市	【健康課】 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき備蓄品(医薬材料)を購入 消毒用エタノール500ml 1,920本 ・新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、春日部市小児救急夜間診療所を利用し、発熱外来を実施し、発熱患者の診療及び PCR検査を行った。平日昼間に242日開所、受診者数157人。
	草加市	・感染予防に関するポスターを作成し市内関係機関に掲示を依頼した(389か所)。
	越谷市	・新型コロナウイルス感染症の影響より、感染症対策に係る関係機関との連携、研修・訓練は実施することができなかったが、結核については登録から管理検診・接触者健診及びDOTS事業まで通常通り実施した。また、エイズ等性感染症については、即日検査は中止したものの定期検査は通常通り毎月実施した。
	八潮市	・新型コロナウイルス感染拡大に備え、マスクやアルコール等の備蓄をした。 ・感染防止について、ポスター・チラシ等を作成し、注意喚起を行った。また、適宜広報やホームページにおいても啓発を行った。 ・妊娠届出時に、妊婦へのマスク配布を行った。 ・感染症について広報紙やホームページ等を通じて情報提供を行い、感染予防についての普及啓発を図った。
	三郷市	・三郷市新型インフルエンザ等対応マニュアルの見直しを行った。 ・季節に応じた各種感染症の流行状況を確認し、随時市メール配信サービスやSNSで周知啓発を行った。また、乳幼児に起こりやすい感染症についてはリーフレットを作成し、乳幼児健診会場にて配布した。 ・避難所を利用する市民や従事する職員を感染症から守るため、感染拡大防止のための物品や資機材等を整備した。 消耗品：防護服等 備品：ファミリールーム(間仕切り)、プライベートテント、二酸化炭素濃度測定器
	吉川市	・感染予防対策について広報・ホームページ・ポスター掲示等での周知
	草加保健所	・令和3年度感染症発生状況：3類6件、4類6件、5類31件 ・令和3年新規結核登録患者数 78人、年末登録者数 265人 ・感染症発生動向調査 25医療機関の協力により発生動向を把握 ・性感染症検査については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け休止しており、再開についての検討を行った。
	春日部保健所	・結核患者への服薬支援、感染者・患者の早期発見により結核の蔓延防止を図った。 令和3年結核新規登録者数25人(潜在性結核感染症10人)管理健診143人 接触者健診165人 訪問108人 面接133人 電話等450人(結核・性感染症) ・定点医療機関から感染症患者の報告を受け、感染症の発生及び流行状況を正確に把握分析。その情報を医療機関・教育機関等と共有し、迅速な診断・有効かつ的確な感染対策を図り、感染症の発生及びまん延を防止した。

④ 新型コロナウイルス感染症対策の強化

春日部市 医師会	今年度も含め、この3年間はこの業務で忙殺された。新型コロナウイルスの発生に伴い、「春日部市医師会 感染症対策委員会」を立ち上げ、医師会役員、春日部市健康課、薬剤師会長にも出席を仰ぎ、令和2年度は45回、令和3年度は39回開催した。医療従事者の優先接種、5回にも及ぶ住民集団接種等、文字通り新型コロナウイルスという未知の感染症に対し、とてつもない量、時間の検討を重ねている。
越谷市 医師会	令和2年4月よりPCRセンターの運営参画、新型コロナワクチン接種体制（25,000回/週）の構築、医療従事者への早期接種開始による院内クラスター防止、高齢者施設への出張接種、発熱外来の整備と休日診療強化、自宅療養陽性者への健康観察と在宅酸素の提供等、越谷市関係各署と連携し、次々と起こる課題の克服に追われた一年であった。越谷市との感染症対策会議を月2回定期開催しR4年度も継続している。
吉川松伏医師会	<p>【PCR検査体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大として、医師会立のPCRセンターを平成2年5月に開設し、週2回～3回、吉川市と松伏町と連携し、PCR検査を実施している。 ・各医療機関と連携し、唾液によるPCR検査の実施の推進、手続き等を支援した。吉川市が17医療機関、松伏町が4医療機関となっている。 ・感染対策委員会を設置、開催し、新型コロナウイルスワクチン接種に向けた検討を実施した。 ・PCR検査センター 検査日数(79日)、検査人数(421人)、陽性者数(116人) <p>【コロナワクチン集団接種体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市 協力人数 医師26名・看護師62名 接種日数(210日)、医師出務延人数(623人)、 医師出務時間(1,725.5時間)、看護師延人数(1,150人)、 看護師出務時間(3,008時間) ・松伏町 協力人数 医師14名・看護師37名 接種日数(116日)、医師出務延人数(322人)、 医師出務時間(849.5時間)、看護師延人数(498人)、 看護師出務時間(1,245時間)
三郷市 医師会	学術講演会を開催し、新型コロナウイルス感染症に対する知識の充実化を図る。
東埼玉 歯科医師会	各医療機関でのマスク、グローブ、ガウンの着用。 消毒の徹底。
草加市 薬剤師会	無症状の方のコロナの抗原検査、PCR検査により医療機関との橋渡し
春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者へ、パルスオキシメーター貸与及び配食サービスを実施した。 ・実施期間：令和4年1月11日～令和4年3月31日 <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パルスオキシメーター 7,695個 ・配食サービス 2,826個 <p>*パルスオキシメーターは、原則1世帯1台で貸与 *1/11～1/23は、パルスオキシメーター貸与と事業のみ実施。 *1/24～パルスオキシメーター貸与と事業及び配食サービスを開始</p>
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、市民への円滑な接種を実施するため、必要な接種体制を確保した。 ・新型コロナウイルス感染症に係る地域医療体制の支援のほか、当該感染症の拡大防止を目的とした市民への啓発等を行った。
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症については、令和2年度に引き続き消防局との協力体制を継続し、陽性者の搬送体制の確保を図った。令和3年度は医師会と連携し、「入院待機者支援事業」として、入院調整後の入院先が決まるまでの間、自宅療養者の呼吸器症状が重篤化しないよう応急処置的に在宅酸素を投与する体制を整え対策の強化を図った。 また、診療・検査体制について、令和2年度に引き続きドライブスルー方式のPCR検査を実施する地域外来・検査センターの設置や休日・年末年始において医療機関で発熱患者の診療と検査をできる体制を整備した。
八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページ等を通じて情報提供を行い、感染拡大防止を図った。 ・食料の調達が困難な自宅療養者に対して、食料を配達した。 ・埼玉県と連携し、自宅療養者に対して、パルスオキシメーターの貸与を行った。 ・市内小中学校の児童生徒約6,400人に対し、不織布マスクを配布した。 ・市内の事業者において陽性者が発生した場合に、自主的に行った検査費用の一部を助成する「検査費用助成事業」を実施した。 ・新型コロナウイルスワクチン接種を集団接種会場及び個別医療機関において実施した。

④ 新型コロナウイルス感染症対策の強化	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページやメール配信サービス、SNS等を活用し、新型コロナウイルス感染防止対策に関する情報提供を行った。 新型コロナウイルス感染者が自宅療養する際に、パルスオキシメーターや食料等を希望に応じ自宅まで配達をおこなった。 令和2年度に引き続き、PCR検査費用について一部助成を行った。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策会議や新型インフルエンザ等対策本部会議において新型コロナウイルス感染症に関わる市の対応を決定し、市民への周知、各課対応。 医師会運営のPCR検査センターへの支援 市内医療機関への新型コロナウイルス感染症診療等体制整備費補助金の交付 在宅療養者への食料支援 R3.8月～R4.3月 447箱配達 陽性者へのパルスオキシメーター配送 R4.1月～R4.3まで 2192個郵送
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に伴う相談対応に努めた。 新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養を支援するために、パルスオキシメーターの配布を実施した。 新型コロナウイルスワクチンの個別接種、集団接種を実施した。 感染症対策本部で決定した内容を速やかに庁内に周知し、感染症対策に取り組んだ。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度新規感染者登録数(管内) 50,738人 発生届受理件数 37,712件 積極的疫学調査、健康観察への対応のため、派遣職員や応援職員を導入し、発生件数や自宅療養者への対応ができる体制を構築した。 新型インフルエンザ等草加保健所管内地域別対策会議において、新型コロナウイルスの対策をテーマに、医師会、薬剤師会、関係医療機関、管内市等をメンバーとして、階層別の連携会議を実施した。(計5回)
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 年明け早々に第3波が押し寄せ、県として2月に緊急事態措置を発令し、感染対策の強化を図った。第5波のデルタ株はり患すると重症化するケースもあり、患者に対し速やかに健康確認等の調査を行い入院の要否を判断した。 老人保健施設等での患者が発生した場合は、福祉事務所等の関係機関と連携し、感染拡大防止対策の指導を行った。
⑤ 食の安全・安心確保	東埼玉 歯科医師会	糖分過多の注意、咀嚼の徹底
	草加市 薬剤師会	生活習慣病、ノロウイルスの処理方法等
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> 8月の食品衛生月間に合わせて、広報誌・ホームページにおいて食中毒予防の周知を行った。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> 食品営業施設等の立入検査及び食品の製造・販売施設の監視を実施した。(1,134施設) 市内で製造・販売される食品等について法等に基づき食品収去等検査を実施した。(159検体、6,771項目数) 食品関係業者等への衛生教育を実施した。食品営業者や従業員等に対して、食中毒予防のための講習会を実施した。(衛生講習会実施数3回、参加者数60名、動画配信4件、視聴回数510回)
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> 庁内の管理栄養士・栄養士が集まり、定期的に会議を開催し災害時の栄養食生活支援について備蓄食品の見直しや備蓄食品の市民周知用チラシを作成した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> HACCP導入の普及・啓発：営業許可新規・更新時等の周知施設1,580施設 施設に対する重点的・専門的な監視指導：①生の野菜等を加工提供する施設の監視：72施設②生食用食肉提供施設の監視：14施設 食の安心・安全についての情報提供：衛生教育の実施3回
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 食品等事業者等に向けてHACCP(ハサップ)導入支援等講習会を33回実施し、824名が参加した。

【5 在宅医療の推進】

① 在宅医療・介護の連携の推進	春日部市医師会	令和3年度も毎月「春日部市在宅サービス多職種連携協議会」を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・接骨師・鍼灸マッサージ師・看護師・ケアマージャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会することで、様々な在宅医療・介護業務について、縦割りではない、顔の見える連携体制を構築している。
	越谷市医師会	「地域包括ケア推進のための在宅医療提供体制充実支援事業」8つのうち、「関係市区町村の連携」以外の7つの項目を実施している。また、越谷市ケース検討会議参加医師のコーディネートをを行うなど、多職種連携推進のハブの役割を担う組織として連携推進の構築に取り組んでいる。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往診医の紹介など在宅医療に関わる相談業務を行った。 ・ 在宅療養支援支援ベッドの確保、調整を行った。 ・ 「医療機関連絡窓口の情報一覧」を作成・更新した。 ・ 医療・介護従事者向け「コミュニケーション研修」「人生会議研修」をオンライン開催した。 ・ 市民向け「人生会議講座」を開催した。 ・ 吉川松伏在宅緩和ケア地域推進委員会を開催した。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる医療・介護連携の推進。
	東埼玉歯科医師会	介護審査会への参加
	草加市薬剤師会	長寿支援課主催の草加市在宅医療、介護連携推進協議会を2回開催 入退院支援ルール作成、多職種共同研修会の企画
	春日部市	<p>【介護保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護関係者を対象にオンラインで「春日部市医療介護職連携研修・交流会」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ①実施日：5月24日 テーマ：「新型コロナウイルス感染症について（現状とワクチン）」（視聴回数：291回） ②実施日：10月26日 テーマ：「ACPについて学ぼう～専門職の関わりを深めよう～」（視聴回数：432回） ・ 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会出席者を対象に春日部市在宅緩和ケア地域連携推進会議を開催した。 実施日：3月14日（参加者：26人）
	草加市	・ 在宅医療・介護多職種協働研修会 6回実施（基礎編2回、各論編（認知症、ACP、緩和ケア、事業者交流会）4回） 参加者数 計432人
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度の介護保険法改正により、在宅医療・介護連携推進事業は市町村が主体的に取り組む事業として位置付けられ、本市では平成30年度から国が定める7つの事業を全て所管し実施している。 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援 医療・介護関係者の研修
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護連携推進事業研修会（医療・介護事業者向け）をオンラインで実施した。（実施日：12月13日（月） 参加者23名） ・ 在宅医療介護連携講演会（市民向け）を実施した。（実施日：1月13日（木） 参加者42名）
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院調整ルールをMCSと多職種連携用冊子へ掲載。 ・ ACP、緩和ケアに関する講演会を年2回開催。（主体：医師会）
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入退院支援ルール策定に向けての検討 草加保健所と協議の結果、松伏町は単独ではなく医師会管内である吉川市と共に策定することに決定。具体的な策定は令和4年度から開始。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年、埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を実施している。（令和3年度はコロナ対応で実施できず） ・ 草加保健所管内市及び松伏町と入退院支援ルールに関する意見交換会を実施し、各地域における入退院支援ルールの作成・運用状況について確認した。（実施日：令和3年11月4日）

② 在宅医療連携拠点の充実	越谷市医師会	「医療・介護の連携拠点運営委員会」を開催中。拠点運営に係る協議を行っている。委員会のメンバーとして、越谷市役所、越谷市医師会在宅医療担当役員および医師、拠点職員。また、移管されている越谷市地域医療課とは毎月打合せの会合実施。
	吉川松伏医師会	・吉川松伏在宅医療サポートセンターは、平成30年度より市町の受託事業により、平日9時～17時、コーディネーター（看護師、介護支援専門員）、2名体制で運営し、240日間開所した。 ・在宅医療、介護連携に関わる相談業務・往診、訪問診療医、患者登録支援業務・在宅療養支援ベッド確保業務・在宅療養に関わる普及啓発業務・多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種の連携につながる研修の開催などを計画、実施している。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる後方支援ベッド体制等の充実化。
	東埼玉歯科医師会	当会には拠点が4ヶ所あり、近隣の歯科医院への依頼
	草加市薬剤師会	在宅医療サポートセンターの活動の充実、研修会の実施
	春日部市	【介護保険課】 ・春日部市地域包括ケアシステム推進センターにて、医療・介護関係者、地域包括支援センター等への相談支援及び情報提供を実施した。（相談件数：48件）
	草加市	・一般社団法人草加八潮医師会に委託し、「在宅医療サポートセンター」を在宅医療連携拠点として設置している。
	越谷市	・上記の事業を越谷市医師会に委託しており、医師会内に設置された「越谷市医療と介護の連携窓口」が在宅医療連携拠点として事業を実施した。
	八潮市	・在宅医療連携拠点として、在宅医療サポートセンターを草加八潮医師会に業務委託し、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。（相談件数 67件）
	三郷市	・三郷市在宅医療介護連携サポートセンターを三郷市医師会に委託。
	吉川市	吉川松伏在宅医療サポートセンターは吉川松伏医師会に委託し、平成30年4月から運営されている。
	松伏町	・吉川松伏在宅医療サポートセンターの運営 人生会議（ACP）や在宅医療に関する研修会を開催 人生会議：令和3年12月2日 会場：松伏会館 参加者：25名 研修会「受援カノススメ」：YouTube配信にて開催 参加者数44名
	草加保健所	・例年、埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を実施している。（令和3年度はコロナ対応で実施できず）

	春日部市 医師会	令和3年度も年2回「春日部市医療介護職連携研修・交流会」（通称：春コン）を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・理学療法士・柔道整復師・社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会し、それぞれの職種の参加者7～10名が1班を構成する形で直に意見や疑問を述べ合うことで、研修の実を挙げている。
	越谷市 医師会	医療連携に係る窓口相談受付業務。多職種からの相談内容をまとめた「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行し関係機関・団体へ配布。地域が抱える課題解決のため、研修会を行った。研修会後アンケートや患者家族対応に苦慮する事例アンケートなどで情報共有し次の研修会につなげている。ホームページは行政、事業所もリンクできている。また、活用しやすいようにQRコードを作成し周知した。MCS活用推進のため、周知活動を継続している。窓口図書室は希望者に貸し出しをしている。
③ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援	吉川松伏 医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、介護従事者より電話、FAX等にて相談を受けている。 ・令和3年度の相談件数は、74件であった。 ・往診医登録 2件(R3年度新規登録) ・患者情報登録 3件(R3年度新規登録) ・支援ベッド確保 365日 ・支援ベッド利用者延べ人数 7人 ・支援ベッド利用延べ日数 76日 ・地域の事業所訪問 18件 ・広報通信誌発行 12回 ・研修会など開催 6回 <ul style="list-style-type: none"> ・専門職向けコミュニケーション 1回 ・専門職向け人生会議研修会 1回 ・市民向け人生会議講演会 2回 ・緩和ケア委員会全体会 2回
	三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる多職種連携に主眼を置いた研修会等の定期的な開催による支援体制の強化。
	東埼玉 歯科医師会	介護審査会への参加
	草加市 薬剤師会	医療と介護連携の会は年1回開催、令和3年度で第21回目となる
	春日部市	<p>【介護保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者が参画する「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」を開催した。 実施日（出席者数）：4月14日（27人）、5月29日（24人）、6月15日（26人）、7月19日（26人）、8月23日（27人）、9月29日（23人）、10月22日（26人）、11月19日（23人）、12月17日（24人）、1月14日（24人）、2月14日（26人）、3月14日（27人） 計12回 329人
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・介護事業所の情報を記載した「草加市在宅医療・介護連携ガイド」を作成し、医療・介護従事者に向け配布した。 ・「在宅医療サポートセンター」において、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。（相談件数：339件） ・MCS（ICTを使用した情報連携ツール）の紹介・案内を随時実施した。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が情報共有するための広報誌「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行した。 ・越谷市医療と介護の連携窓口が医療・介護関係者からの相談窓口となり、電話・メール等の相談を223件受け付けた。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療サポートセンターによる、MCSの登録作業や、ホームページ等の啓発を行った。 ・事業者向けの医療・介護資源リストを更新し、市内の医療機関・薬局・介護サービス事業所等に配布した。 ・入退院支援ルールの策定に向けた検討を行った。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の認定申請窓口にて、三郷市在宅医療介護連携サポートセンターの案内チラシを配布。 ・退院調整ルールの活用状況確認のためアンケート調査を実施。 ・市民向けに人生会議に関する内容をのせた人生会議の絵本を作成。市内の小中学校や公共機関に絵本を配布し、電子図書にも掲載。
	吉川市	平成30年9月から「医療・介護情報提供システム」が公開され、在宅医療・介護関係者間の情報を共有している。
	松伏町	ICT情報共有ツール（MCS（メディカルケアステーション））の活用 メディカルケアステーションを活用し、在宅介護関係者の情報連携の強化を図った。
	草加 保健所	例年、埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を実施している。（令和3年度はコロナ対応で実施できず）

	春日部市 医師会	令和3年度も毎月「春日部市在宅サービス多職種連携協議会」を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・接骨師・鍼灸マッサージ師・看護師・ケアマージャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会することで、様々な在宅医療・介護業務について、縦割りではない、顔の見える連携体制を構築している。
	越谷市 医師会	「医療と介護連携の会・世話人会」を2か月に1回開催。越谷市における多職種各団体代表者が一堂に会し、地域包括ケア推進のための意見交換や体制の構築に深く関与した協議会となっている。県内の横断的な繋がりを目的に作られたMCSの県内拠点グループは、現在も継続している。「越谷市地域緩和ケア連携委員会」は緩和ケアの連携に向けて関係構築を図り、研修会も実施。ACP普及のために意思決定を考えられるよう市役所と一緒に「市民公開講座」を実施。県事業として「サロン向けACP研修会」を開催するにあたり、協力医師が6名登録。各地区の地域包括支援センターにも周知し、研修会を実施した。また、他関係者にもチラシを使い周知を行った。 「越谷市入退院支援ルール」を作成し、3回にわたりオンライン説明会開催。個別にも対応し、入退院における連携の構築に努めた。同職種連携を深めるために「越谷市ナースの会」を立ち上げオンライン開催。 その他各研修会や会議、打ち合わせはコロナ禍の為、オンライン開催で実施した。
	吉川松伏 医師会	・市町のケアマネ会に定期的に参加。 ・埼玉県拠点が主催する埼玉県在宅医療連携協議会の実行委員として参加。
	三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関との調整。
	東埼玉 歯科医師会	介護審査会への参加
	草加市 薬剤師会	市役所長寿支援課、医師会、歯科医師会、ケアマネ会等連携は取れている
	春日部市	【介護保険課】 ・介護関係者を対象にオンラインで「春日部市介護事業部門連携研修・交流会」を開催した。 ①実施日：8月18日 テーマ：「コロナ感染予防を経験して、幅広い公衆衛生の知識を身につけよう!!～春日部市におけるクラスター発生を防ごう～」 (視聴回数：139回)
④	草加市	・草加市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、2回会議を開催した。 (11.25、2.10)
関係機関の連携の推進	越谷市	・医療関係者、介護関係者、学識経験者等16名で構成された「越谷市地域包括ケア推進協議会」を1回開催し、在宅医療・介護連携推進や、認知症施策の推進について審議した。(実施日：10月8日、2月10日) ・多職種が参加する研修会を18回開催し、619人が参加した。 (昼研修と合わせると、42回・1,418人が参加した) 6月1日 72人 第29回医療と介護連携の会「新型コロナワクチン接種の効果と副応」 6月11日 14人 地域包括支援センター向け認知症に関する研修会① 6月15日 35人 IPW研修「ヒューマンケアについて」 7月7日 28人 第1回越谷市ナースの会 7月29日 12人 地域包括支援センター向け認知症に関する研修会② 7月30日 44人 医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイントシリーズ「心療内科と精神科の違いを知ろう」 8月5日 63人 第30回医療と介護連携の会「救急の現状と課題」 8月10日 24人 IPW研修「あなたと考えるファシリテーション」 10月20日 23人 第2回越谷市ナースの会 11月4日 38人 第31回医療と介護連携の会「口腔ケアから始まる健康」 11月26日 29人 医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイントシリーズ「高齢者に多い骨折とフレイルについて」 12月10日 40人 コミュニケーション研修 12月15日 24人 第3回越谷市ナースの会 12月16日 63人 緩和ケア研修会 1月14日 7人 主任ケアマネの会 1月19日 20人 在宅緩和地域連携委員会 3月16日 20人 第4回越谷市ナースの会 3月24日 68人 ACP研修会 ・お昼の時間を利用したオンラインでの研修を毎月1回ずつ実施した。 (24回開催、計799人が参加) 月1回(計12回)601人 Amiカフェ 月1回(計12回)198人 ランチで語ろう会(事例検討会)
	八潮市	・医療関係者、介護関係者等8名を構成員とする、在宅医療・介護連携推進会議を3回開催した。
	三郷市	・三郷市在宅医療介護連携推進協議会を年3回開催。(主体：市) ・多職種研修会を年1回開催。(主体：市)

吉川市	吉川松伏多職種連携の会では、医療・介護職向け研修として講演会を2回実施。
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療や介護の連携として「吉川・松伏多職種連携の会」の運営 吉川・松伏多職種連携の会 令和4年1月27日対面開催 → (変更) 書面協議 ※会議は新型コロナウイルス感染症の影響により開催方法を変更し実施
草加 保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を実施している。(令和3年度はコロナ対応で実施できず)